

ひかりが丘自治会の取り組み

令和5年度 脱炭素モデル地区に指定される

いこま市民パワー(株)による再エネ電力の供給と、地域の集会所などを「複合型コミュニティ」拠点とする事業を組み合わせ、地域を活性化しながら二酸化炭素排出実質ゼロに向けた取組を進める

1. 集会所の電力をいこま市民パワーに切り替え

2. こみすでの活動を通して、地域の活性化を図るとともに、資源ごみの再利用、ごみの減量化を図る

3. 各家庭での太陽光パネル、蓄電池の設置の推進
～フェズフリー～

まちのえき（複合型コミュニティ）

ひかりが丘自治会

「こみすて」 コミュニティステーション

令和2年(2020年)9月検討開始

令和3年(2021年)3月スタート

実証実験3か月

生駒市が推進

複合型コミュニティとは？

- いつ : 日常的(定期的)に、
- どこで : 歩いていける自治会館や公園などの拠点で、
- 誰が : 地域住民を中心としつつ、外部の支援者とも連携し、
- 何を : 地域を楽しい場所とし、結果として地域課題の解決
 につながる福祉・環境・文化・地産地消などの活動を、
- どのように : 既存の活動と新規の活動とを組み合わせ、また支援する人
 とされる人を固定化せず、すべての人が役割を持ちながら、
- 結果 : 絶えず様々なサービスが自立的に提供され、
 人的交流が生まれる 地域コミュニティの活性化

既存の活動は？

①2017年 「コーヒーサロン“ひかりcafé”」スタート 毎週火曜日

コミュニティ、交流の場所 約25名くらいのボランティア当番制

⇒ 来客数が伸びない

②2018年 「百歳体操」スタート

地域包括ケア推進課タイアップ 参加者約40名

毎週火曜日、コーヒーサロンの前に実施

⇒ コーヒーサロンの利用者も増加

③2019年 「地元新鮮野菜の販売」スタート

農林課、地元農家とタイアップ 月1回 第2火曜日に併せて実施

※場所はすべて自治会集会所にて実施

何故“こみすて”を選んだのか？

- ①市制50周年で、次の50年のまちづくりの柱として市から提案 ⇒ 賛同
- ②人と人の繋がりをさらに深める、コミュニティの場所(居場所づくり)が必要
- ③住んで良かった、住みたい街づくり
- ④補助金が出るタイミング、公園の解放など市の援助
- ⑤萩の台住宅地自治会の実証実験“こみすて”を参考

 “こみすて”に決定

- ・ごみ出しを通じて住民が集まる場所を公園に決定
- ・既存活動の自治会集会所の横に位置していて、融合がし易いため
- ・大型物置2台とテント2張りを設置し、環境整備を行う → 運営はボランティア

“資源ごみ回収” 内容は？

- ◆金属類(なべ、フライパン、傘など)
- ◆家電類(家電リサイクル法対象品は不可)
- ◆食器類 ⇒ 不用品交換コーナーの設置
 - ・使用可能な品物はコーナー展示し、欲しい方に再利用
- ◆単行本、漫画、絵本などの図書
 - ・集会所2階に「まちかど図書館を作る」
→利用者が少ないため2024年廃止
- ◆その他資源ごみ(ビン、缶、ペットボトル、乾電池など)

分別が分からない人にはアドバイスします

取組実施活動項目

長く続けるために

様々な活動を試行錯誤

→ うまくいかない場合は
修正

(毎週火曜日)

9:00~11:00

- ・百歳体操
- ・コーヒーサロン
- ・野菜市

(第2火曜、第4土曜)

2021~毎週火曜日・第4土曜日で開始

現在 第2火日、第4土曜と次の週の火曜

9:00~16:00

- ・こみすて居場所づくり資源回収
- ・不用品交換コーナー
- ・花壇づくり
- ・子どもプール(夏休み) ・駄菓子販売
- ・まちかど図書館 音読会
- ・モーニング販売 ・地域食堂カレー
- ・キッチンカー
- ・もちつきなど



◎公園に物置設置

◎テントを張る場所
を整備する



◎公園にテントを張る

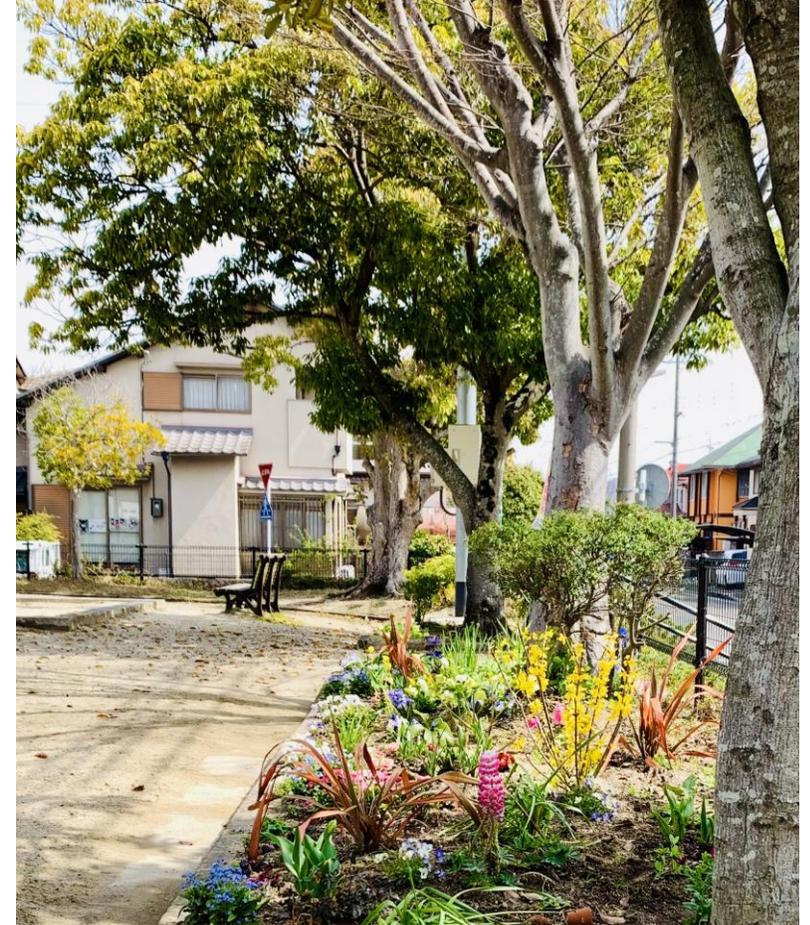
◎収集ボックスの
名前の板を作る





「こみすて」 公園の花壇づくり

◎雑草取りをして花を植えました、
土がづくりが必要です(^_^;



◎公園周りの花壇づくり 冬場は寂しいです。

コーヒーサロン
ひかりCafé



百歳体操



新鮮野菜の販売



こみすて



資源ごみ回収



◎ごみ出しをきっかけに、人と人が繋がる場所 ⇒ こみすて



子ども居場所 交流の場





居場所 交流の場

- ・「こみすて」はきっかけづくり
- 百歳体操参加者増加
- 老人会加入者増加





ヤクルト健康セミナー



地域包括支援センター体力測定



地域包括支援センター福祉体験会





• 12月 キッチンカー
餅つき
大根炊き出し



各種イベントの実施は、集客の効果は大きい！

◆参加者の声

- ◆顔見知りの方が増え、声を掛け合う人が増えた。
- ◆皆とおしゃべりするのが楽しい。
- ◆資源ごみ回収が大変助かる。
- ◆不用品交換“もったいない市“資源再利用が良い。等

◆ボランティアの声（継続するには）

- ◆自分達が楽しい居場所づくりが継続のコツ
- ◆できる範囲でお手伝いの体制

◆ボランティアによる運営の利点

- ◆自分たちでアイデアを出して自主的に活動ができる
(自治会役員の仕事にしない)

◆課題

- ◆ボランティアの高齢化
- ◆今後引き継いでくれる人材の確保

< 新たに加わった、脱炭素モデル自治会の特典 >

❖ 各家庭での太陽光パネル、蓄電池設置の推進
⇒ 国からの補助金2/3あり！！

自治会役員会にてモデル地区応募決定⇒◎
生駒市による説明会の開催(自治会集会所にて)

自治会員への情報提供

→ 事業者による個別説明

❖令和8年1月27日現在の実績

太陽光＋蓄電池 16件

蓄電池のみ 10件

計26件

❖ひかりが丘自治会員の声

- ◆ 国からの特別補助金を活用して設置でき大満足！！
こんなチャンスに巡り合え、ひかりが丘住民で大変良かった。
- ◆ いい機会だと思ったが、住宅が古いことや、自分の年齢を考えて設置をあきらめた。

❖2026年度以降推進する自治会へのアドバイス

- ◆ ひかりが丘は、古い住宅が多く断念する方も多かったが、若い人・新しい住宅が多い自治会にとっては、災害に強い地産地消のまちづくりを進める大きなチャンスとなる！